



日刊工業新聞

Business & Technology

21

2013年(平成25年)10月4日 金曜日

ニッポン新事業創出大賞

経産大臣賞に廣瀬製紙

部門は廣瀬製紙(高知県
佐佐市、岡田勝利社長)

日本ニユ
ービジネス
協議会連合
会は3日、
高知市で開
催した新事
業創出全国
フォーラム
の中でニッ
ポン新事業
創出大賞を
発表、表彰
した。企業

が最優秀賞となる経済産
業大臣賞を獲得した。
廣瀬製紙は機能性繊維
による世界一薄い産業用
不燃布の製造、加工、販
売を行っているが、さら
に薄過フィルターの開発
に成功。伝統的な産業が
ら新たな事業に取り組
み、日本のモノづくりの
礎となるとともに、雇用
をはじめとして地域に多
大な貢献をしたことが評
価された。

は無水調剤が可能な鋳物
ホーロー鍋を開発した愛
知ドビー(名古屋市の)
土乃邦裕社長が最優秀賞
の中小企業長官賞を受賞
した。
支援部門はエヌアント
レプレナーパートナーズ
(千葉県柏市、村井勝代
義理事)が最優秀賞の経
産大臣賞に、さらに新設
の復興賞には、住宅建設
のスモリ工業(仙台市)
の須森明社長が選ばれ
た。

中小ベンチャー中

龍馬胸に「土佐の日」

高知市 大懇親会に600人

高知を愛する人たちが親睦を深める「土佐の日 大懇親会」が3日、高知市の県民文化ホールなどで開かれ、県人会メンバーや企業、行政関係者ら県内外の約600人が坂本龍馬

の生き方について語り、杯を交わした。

県立坂本龍馬記念館の森健志郎館長が基調講演した後、坂本家9代目当主の坂本登さんや企業経営者らでパネル討議。龍馬の生き方

を引き合いに「世界を見据えた広い視野やチャレンジ精神が重要」「地方から日本を引っ張っていく人材の育成を」と語り合った。

フォーラム後は別会場で文字通りの大懇親会。参加者は郷土料理と地酒に舌鼓を打ちながら、土佐談議に花を咲かせた。

「土佐の日」は2007年、地域経済の活性化を目指すNPO法人「高知県環境自律フォーラム」が語呂合わせで10月3日と制定。毎年、懇親会を開いている。

また、同時開催で中小企業基盤整備機構四国本部などが主催する「第9回新事業創出全国フォーラム」もあり、「第8回ニッポン新事業創出大賞」の企業部門最優秀賞に、広瀬製紙（土佐市高岡町丙）が選ばれた。

（馬場 隼）



龍馬を思いながら、新しいビジネスの在り方などを考えたフォーラム

（県民文化ホール）